



学校だより

薫る双葉

令和8年7月17日

～チームワーク・フットワーク・ネットワーク～

第8号

図書室だよりで紹介したとおり、5、6年生が友達に是非読んでほしい本を紹介するための「ポップ」を作成し、そのコンテストを実施しました。今回はコンテスト受賞者4名の受賞の言葉を紹介します

最優秀賞

「パンどろぼうとニセパンどろぼう」



この本を選んだ理由は二つあります。一つ目は、絵がかわいくて低学年に人気だからです。絵本なので、低学年の子やまだ字を読むことが苦手な子でも楽しめると思いました。二つ目は、パンどろぼうシリーズが人気だからです。子どもから大人まで人気があり、みんなが読んでくれると思って選びました。最優秀賞に選ばれてとても嬉しかったです。これからも、思わず手に取りたくなるようなポップを作っていきたいです。

【5年1組 宮内 麗奈 さん】

レジェンドゴールド賞

「ぼくのニセモノをつくるには」

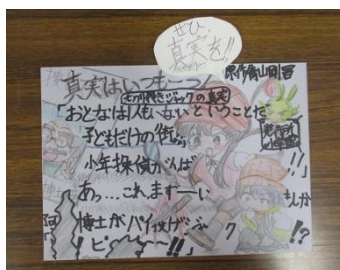


わたしは、全校のじどうに、「わあ、おもしろそう、読んでみたいな」と思ってもらえるようなPOPをつくりたいなあと思っていました。とびらをつけて、とびらをあけたらとてもおもしろいくみができるように、作ってみましたが、最初はあまり上手にできませんでした。友だちにアドバイスをしてもらい、上手に作れました。私がレジェンドゴールド賞をもらえると思っていませんでしたが、賞がもらえてとてもうれしかったです。

【5年2組 熊本 莉緒奈 さん】

スーパーシルバー賞

「切り裂きジャックの真実」



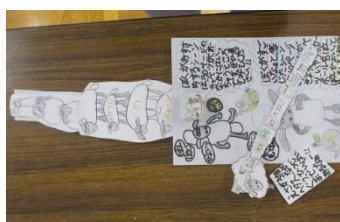
わたしは、このポップを作ったことが二つあります。一つ目は、ポップをつくるのに大事なことは、「本の魅力をわかりやすく伝え、読んでみたい！と思ってもらうように工夫すること」です。二つ目は、表現の工夫をして、作るのが楽しいと思ったことです。

スーパーシルバー賞がとれて感じたことは、自分のポップに票を入れてくれてとてもうれしいと感じました。ほかの本も読んでみたいです。

【6年1組 田丸 あいり さん】

チャレンジブロンズ賞

「ひつじのショーン ショーンとサッカー」



※紙面の関係で横向きになっています。

後ろからでも見やすいように文字を大きくし、友達の見えも取り入れながら、工夫して作りました。思うようにできないことがあっても、最後まであきらめずに取り組むことの大切さや、友達のことを考えることのよさを学びました。次に作る機会があれば、その経験を生かして、良い作品を作りたいです。ブロンズ賞に選ばれてとてもうれしかったです。見る人に本の魅力が伝わるような作品づくりをしていきたいです。

【5年1組 椎名 悠月 さん】

HP でも学校の様子をご覧いただけます <https://www.city.choshi.chiba.jp/edu/school/es-futaba/>

☆ 安全の土台の上に、充実した夏休みの生活を ☆

保護者の皆様には、1 学期も、本校の教育活動への温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、いよいよ子どもたちが楽しみにしている夏休みが始まります。

約40日間という長い休みは、子どもたちが大きく成長するチャンスである一方、生活のリズムが乱れやすい時期でもあります。

そこで、夏休みの過ごし方について、ご家庭へ3点のお願いです。

1 点目は、「命と安全を守ること」です。

毎年、全国で悲しい水の事故や交通事故が起きています。「これくらいなら大丈夫」という油断が命取りになります。また、最近はSNSやオンラインゲームをきっかけとしたトラブルや犯罪被害も急増しています。ご家庭でも、利用時間を含めたSNSやスマートフォンの使い方や外出時のルールについて、今一度お子様と話し合ってください。

2 点目は、「規則正しい生活を維持すること」です。

「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣を崩さないよう、学校があるときと同じリズムで朝を迎える声掛けをお願いします。時間がたっぷりあるからこそ、計画的に過ごす自己管理能力を育てるチャンスです。併せて、「1日1つの小さなお手伝い」を日課とすることで、「継続すること」や「自分の役割に責任を持つこと」の大切さをご指導ください。

3 点目は、「夏ならではの体験をすること」です。

地域行事への参加や一つのことをじっくり調べる自由研究など、何でも構いません。例えば、「朝、自分で起きて朝顔に水をやる」「地域のお祭りに参加する」「図書館で分厚い本を1冊読み切る」など、こうした日常の小さな挑戦も、子どもにとっては立派な「夏ならではの体験」です。小さなことでも「自分で決めて最後までやり遂げた」という経験が、2学期以降の自信につながります。

【最重要】「交通安全」への徹底した意識づけを！

最後に、一学期の様子を踏まえ、どうしてもお願いしたいことがあります。それは「交通安全への徹底した意識づけ」です。子どもたちの登下校時の様子について、「子どもたちのヒヤッとする場面を見かけた」という声が届いております。具体的には、「横断歩道がないところを横切っている」「青信号が変わると同時に左右を見ずに飛び出す」「友達とふざけ合いながら広がって歩く」といった姿です。

夏休みは開放感から、どうしても注意力が散漫になりがちです。また、学童保育への行き帰りや、友達同士での外出など、子どもたちだけで行動する機会も増えます。そこで、ご家庭の皆様へ2点をお願いします。

1 点目は、「具体的な危険場所のシミュレーション」です。「車に気をつけてね」という言葉だけでは、小学生には伝わりにくいものです。「あそこの交差点はトラックが左折してくるから、一歩下がって待とうね」「あの見通しの悪い角では、必ず止まって顔を出して確認しようね」と、具体的な場所を指して、言葉や一緒に歩くことで伝えてください。

2 点目は、「自転車に乗る際のルール確認」です。ヘルメットの着用はもちろんのこと、スピードの出しすぎや、並列走行の禁止、そして「交差点での一時停止」をご家庭でも強く約束事として伝えてください。

長い休みを安全に、そして有意義に過ごすためには、学校と地域、そして何よりご家庭との連携が欠かせません。

9月には一回り大きく成長した子どもたちと、元気に笑顔で再会できることを楽しみにしております。どうぞ、ご家族で安全で充実したすばらしい夏休みをお過ごしください。